



顔 -faces-

画業25周年・芸能生活45周年記念

片岡鶴太郎展

2021年4月24日(土)～5月23日(日)

倉吉博物館 開館時間：午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)
※休館日：4月26日(月)、5月6日(木)、10日(月)、17日(月)

入館料：一般1,200円(1,000円) 高校・大学生800円(600円) ※中学生以下無料

※カッコ内は前売り、有料20人以上の団体料金/障がい者手帳、療育手帳等をご提示された方は無料(介助者は有料)/70歳以上は身分証明書のご提示で
当日券1,000円/日本海新聞アプリ内の日本海クラブさみみ電子会員証をご提示いただくと当日券100円引き(割引の併用はできません)

プレイガイド：日本海新聞各本支社、鳥取県中部地区の日本海新聞販売店、倉吉博物館

ローソンチケット(ロード61344)、CNプレイガイド(ファミリーマート)、セブンチケット(セブンイレブン)、ポスター掲示の各店舗

主催：倉吉市、新日本海新聞社、片岡鶴太郎展 顔-faces-実行委員会

特別協賛：倉吉信用金庫 協賛：JA鳥取中央 特別協力：太田プロダクション

協力：草津片岡鶴太郎美術館、山中片岡鶴太郎工芸館、伊万里片岡鶴太郎工芸館、福島片岡鶴太郎美術庭園

演出協力：WOW(「赤富士」映像) 企画制作：オギノマネージメントコーポレーション

お問い合わせ：日本海新聞中部本社ビジネス支援課 TEL0858-26-8340

【ご来館される皆様へ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、マスクの着用、手指消毒、氏名・電話番号の記入等にご協力をお願いします。感染拡大に伴い、本展覧会の会期、内容を変更する場合は日本海新聞、ホームページでお知らせします。



芸人、俳優、画家、書家、ボクサー、ヨガマスターと さまざまな「顔」を持つ片岡鶴太郎。

「私にさまざまな「顔」ができたのは、自分の魂が歓喜することを続けた結果である」と語る鶴太郎の画業25周年、芸能生活45周年を記念した本展覧会は代表作をはじめ、日本画、墨彩画、油彩画、パステル画の新作や未発表作など100点以上を展覧いたします。

本展覧会のメインビジュアルには日本の「顔」である「富士山」を選び、エンターテインメント性のある展示に挑戦しています。

鶴太郎が絵を描ききっかけとなった「椿」の作品だけで構成する「椿の間」は、本展覧会オリジナルのパフォーマンスです。

《雪椿》2008年



片岡鶴太郎

1954年、東京都西目暮里出身。高校卒業後、片岡鶴八師匠に弟子入り、3年後に声帯模写の芸人として独立し、バラエティ番組出演を機に人気者となる。俳優としては、幅広いキャラクターを演じ、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞。近年は、トークイベント「鶴やしき」をセルフプロデュースしている。画家としては、1995年に初の絵画展を東京で、2001年には初の海外個展をパリにて開催し、好評を博す。展覧会を毎年のように全国各地で開催する一方、書籍や冊子の挿絵なども担当している。群馬県草津、石川県山中、佐賀県伊万里、福島県飯坂に個人美術館がある。書家としては、2015年に書の芥川賞といわれる「第10回手島右衛門賞」を受賞。2017年にはインド政府公認プロフェッショナルヨガ検定に合格し、インド政府より、ヨガマスター、ヨガインストラクターの称号を授与され、第1回ヨガ親善大使にも任命される。

●後援

鳥取県、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町、鳥取県教育委員会、湯梨浜町教育委員会、三朝町教育委員会、北栄町教育委員会、琴浦町教育委員会、鳥取県町村会、鳥取県公民館連合会、鳥取県文化団体連合会、鳥取県老人クラブ連合会、鳥取県連合婦人会、鳥取県観光連盟、鳥取中部ふるさと広域連合、鳥取中部観光推進機構、倉吉商工会議所、赤瓦、倉吉観光MIC E協会、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、日本海ケーブルネットワーク、鳥取中央有線放送、エフエム山陰



《東京夜景》2017年



◎JR倉吉駅バスターミナル2階のりばから市内線バス「赤瓦・白壁土蔵」もしくは「市役所・打吹公園」入口下車、徒歩約3分
◎米子自動車道「湯原IC」から国道13号 約45分（駐車場は博物館隣）

倉吉博物館

〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8
TEL0858-22-4409 FAX0858-22-4415
<http://www.1.city.kurayoshi.lg.jp/hakubutsu/>



《森伊蔵》2014年

片岡鶴太郎展 プレ展示

※椿の作品を中心に10点を展示します

・会期：4月3日(土)～4月18日(日)
※休館日：毎週月曜日

・会場：倉吉博物館 第3展示室

・入館料：「片岡鶴太郎展 顔-faces-」の
前売り券をお持ちの方は無料
※お持ちでない方は博物館常設展示入館料が必要